

1	事業名称	幼稚園・保育園支援事業			
2	新規・継続	継続		9年目	
3	趣旨	当青少年自然の家周辺の自然環境を活かした幼児の自然体験活動・運動遊びプログラムの研究開発を行い、幼児期における自然体験活動の普及を図る。			
4	期日・期間	回数	実施日	回数	実施日
		1回	9月27日	7回	10月20日
		2回	9月28日	8回	10月21日
		3回	9月29日	9回	10月25日
		4回	10月7日	10回	10月26日
		5回	10月13日	11回	10月28日
		6回	10月14日		
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家（冒険の森・プレイホール）			
6	募集人数	各回 保育園・幼稚園年長・年中児クラス			
7	共催・協力・後援	後援：長野県教育委員会 協力：松本短期大学			
8	参加者人数	1回 飯田中央保育園(29名) 7回 育良保育園(18名) 2回 飯田中央保育園(31名) 8回 高森町みつば保育園(29名) 3回 高遠第2第3保育園(36名) 9回 ひまわり保育園(25名) 4回 瑞穂幼稚園(16名) 10回 聖ヨゼフ保育園諏訪(21名) 5回 育良保育園(20名) 11回 西箕輪南部保育園(21名) 6回 聖クララ幼稚園(29名)			
9	参加者類型	幼稚園・保育園年長・年中児 275名（のべ11園）			
10	参加者地域	長野県内 275名			
11	参加者分析	・この事業の初期から継続して参加している園が2園ある。 ・前年度に比べて園数、参加者数が減少した。原因は、一般利用として冒険の森での運動をする園が増えているからと考えられる。			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13	アンケートの主な記述	○とても丁寧に楽しく指導していただき、園児たちも楽しみながら”聞くときは聞く”姿勢になっていた。雨で室内での運動になったが、体育館（プレイホール）だからこそできる活動も充実してよかった。 ○たくさんの自然の中で普段とは違う自然環境に触れることができ、園児だけでなく保育士も楽しい経験ができた。 ○冒険の森の活動だけでなく、周りを散策してもどんぐりや虫、花などを見つけることができ、豊かな自然を満喫することができた。 ○冒険の森では、普段なかなか経験できない動きや遊びができ満足した。 ○毎年参加しているが、園の近くに冒険の森のような自然の中で安心して遊べる場所があるとよい。			

14	成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冒険の森運動遊びのプログラムを開発した松本短期大学名誉教授の柳澤秋孝先生の指導のもと職員が事前に幼稚園や保育園の先生向けに講義や実技を行ったことで、当日の園児への指導が円滑に行われた。</li> <li>・参加3年目からは施設職員が指導をせず、園の方で指導をお願いしているが、今年度はどの園も先生方が運動の指導を上手にすることができた。</li> </ul>	
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冒険の森のロープを張る木の耐久性を考えると、今後新たな場所を選定しなければならない。</li> </ul>	
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冒険の森の準備や指導、後片付けで担当者の負担が大きいので負担軽減のため、推進室全員で役割を分担して行った。</li> </ul>	
プログラム展開(各園共通)			
日程・時間		プログラム	備考
10:00		入所・はじめの会	国立信州高遠青少年自然の家職員
10:30～12:00		森のくまさん ピョンピョンうさぎ サルの川わたり	国立信州高遠青少年自然の家職員または園職員
12:00～13:00		昼食	園職員
13:00～14:30		コアラの木のぼり 自由遊び	国立信州高遠青少年自然の家職員または園職員
14:30～15:00		終わりの会	国立信州高遠青少年自然の家職員
15:00		退所	園職員



コアラの木のぼり(育良保育園)



森のくまさん(飯田中央保育園)



サルの川わたり(ひまわり保育園)



ピョンピョンうさぎさん(高森町みつば保育園)

担当:企画指導専門職 田中 郁夫